

Doc.No: NR050513

2005年5月13日

世界最高速^{※1}のサーマルCTP PlateRite 8800IIを発売 ～露光ヘッドの改良により、さらに高い生産性を実現～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：垣内永次)は、世界最高速^{※1}の生産性を実現するサーマルCTP(=Computer to Plate)装置「PlateRite(プレートライト)8800II」を2005年5月24日から販売します。

「PlateRite 8800II」は、印刷用のデジタルデータを刷版(プレート)に直接出力するサーマルプレートレコーダー「PlateRite 8800」の後継機種で、光源にGLVTM ^{※2}を採用している512チャンネル露光ヘッドに改良を加え、描画品質を維持しながら露光用ドラムの回転数を上げる高速化オプションの搭載により、1時間当たり最高35版^{※3}を出力できる高い生産性を実現しました。

また、最大で5種類のサイズの異なる刷版に対応し、合紙を自動除去して供給するマルチオートローダー「MA-L 8800」を接続することにより、全自動で安定した刷版の供給を可能とし、ユーザーのニーズに合わせたプレートサイズを選択することができます。最小版サイズは従来の450×370mmから324×370mmへと、より小サイズに対応できるように変更したほか、先端クランプを6mm^{※4}にすることにより、オフセット輪転印刷機などの仕様に幅広く対応した刷版の露光を可能にするなど、多品種少量生産、短納期化が進む印刷業界のさまざまなニーズに対応します。

CTP装置は、2004年度の世界での年間総出荷台数が5,000台を超え、今後ますます市場が拡大すると予測されています。現在、当社製造のCTP装置は、全世界市場で約36%のシェアを獲得しており、2003年度と2004年度の単年度出荷台数第1位になっています。

当社は、今回の「PlateRite 8800II」の発売によってCTP装置のラインアップをいっそう充実させ、印刷業界のあらゆる需要に対応します。また、JDF対応ワークフローシステム「Trueflow 3」と連携した運用によりプロセスオートメーションを実現し、世界市場でのさらなるシェア拡大を目指します。

なお、この装置は2005年5月26日から28日まで大阪・インテックス大阪で開催される展示会「JP2005」に出展します。

※1 当社調べ。2005年5月13日現在販売されている四六全版に対応したCTPにおいて世界最高速機となります。
(最大プレートサイズ：1,160×940mm)

※2 GLVTM(Grating Light ValveTM)
MEMS(微小電子機械システム)と呼ばれるセンサーや通信、バイオ分野で使用されている半導体技術と光の干渉性を利用した光学原理に基づく技術。半導体素子の基板上に光を反射するリボンを並行に配列した構造で、露光ビームの多チャンネル化を図ることが可能。

※3 オプション対応。標準仕様は、1時間当たり30版。標準仕様品の現地改造にも対応可能。(1,030×800mm、2,400dpi時。生産性は版の感度によって異なる場合があります。)

※4 くわえ尻側クランプは8mm

* Grating Light ValveTMおよびGLVTMは、Silicon Light Machines(本社：米国)の商標です。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 営業企画部：

Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1

< 国内希望販売価格(消費税別) >

5,500万円

< 販売開始日 >

2005年5月24日

< 年間販売予定台数 >

150台



PlateRite 8800II

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo>)